

《学校の教育目標》 志をもち 共に向上する

仲間づくり

仲間と共に課題の解決に向かう中で、自信や誇りがもてる学級づくりを目指すと共に、価値ある活動に取り組む学校文化を創造する。

- 日常活動「常」・授業・行事などで仲間と関わり活動する。
(係活動・行事・財産づくり等)
- 課題を見つけ問題提起し、学級や生徒議会で話し合い改善に取り組む。
(生徒会活動、学級活動)
- 願いを共有し、共に活動するリーダーやフォロワーを育成する。
(生徒会・ボランティア活動等)
- 価値ある活動を見つけ主体的に取り組む生徒会活動を推進する。
(自治的な行事運営、生徒発信のいじめ防止活動、島中よくし隊等)

志づくり

仲間の考えや行動を尊重しつつ、自分の願いや目標の実現に向けてひたむきに努力する意志と行動力のある生徒を育成する。

- 目指す自分像や目標に向け努力する姿を価値づけ、ひたむきに頑張ることの大切さを意識づけ指導する。
(各種通信、道徳の授業、キャリア教育等)
- 互いの気持ちを理解し、力を合わせることを喜びとして、向上を目指す人間関係を醸成する。
(心・いじめアンケート、学級活動、班活動、ここタン)
- どの生徒も学級の大切な仲間として、共に生きようとする姿を生みだす。
(仲間への働きかけ、教師の見届けと評価、不登校生徒への支援)

学びづくり

主体的に学びに向かい、獲得した知識や仲間の考えをもとによりよく問題を解決する資質や能力を高め、発信する力を育成する。

- 個別最適な学びと協働的な学びにより、誰一人取り残さない授業を目指す。
- タブレット端末の活用を学習習慣の一つと捉え、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。
(ロイロノートの活用)
- 教科係を中心に、自分たちが授業を創るという意識を高める。
(教科係の指示と授業評価)
- 協働的な学びの中で多様な価値観に触れ、仲間のよさを実感し、自他を認め合う豊かな心の醸成を図る。
(道徳・人権教育の推進等)

《重点》 ・ タブレット端末の活用と協同学習の推進
・ 人権教育（いじめ防止）及び特別支援教育の推進

＜特活指導部会＞

- ・ 仲間と共に「常」を磨く生徒会活動
- ・ 持ち味を生かして自治力を鍛え、仲間と共に高まり合う喜びを実感できる、活力ある集団の育成
- ・ 自己実現につなぐキャリア教育
- ・ 共生社会の具現に向けたいじめ根絶
- ・ 不登校生徒の行事等への参加支援

＜生活指導部会＞

- ・ 基本的生活習慣の確立
- ・ 自分の健康や命を守る、保健、安全・食育指導と危機管理
- ・ 安全で整った美しい環境づくりに励む安全・環境衛生・清掃指導
- ・ 生命尊厳・SOSの出し方教育
- ・ 不登校生徒の居場所づくり
- ・ これからの部活動のあり方

＜学習指導部会＞

- ・ 協同学習を軸とした、主体的・対話的な授業づくり
- ・ タブレット端末や図書館、アゴラの積極的な活用
- ・ 自己を見つめ他を思いやり、行動力を育成する道徳、人権教育
- ・ 授業における合理的配慮の提供
- ・ 不登校生徒に対する学習支援

＜特別支援教育部会＞

- ・ 特色ある教育活動の推進
- ・ 通常学級との連続性のある学びの場の設定
- ・ 個を伸ばす合理的配慮の提供
- ・ 子育てに悩む保護者への支援

家庭・地域

保護者や地域の方と触れ合う機会を通して、生き方を学び、地域への愛着を高める。ボランティア活動を通して、地域に役立つ人材育成を進める。(コミュニティ・スクール)

- 地域の行事やボランティア活動等に積極的に参加し、地域の方から認められる体験を増やす。
- 保護者に、子どもの頑張りや成長を積極的に伝える。保護者の願いや気持ちを受け止め、家庭と共に子どもの可能性を広げる教育を推進する。
- コミュニティ・スクールとして、授業や学校行事を積極的に公開・発信する。
- 学校評価を活かし、学校経営の改善に努める。(自校職員、保護者、外部関係者)